

# 電力供給確保し復興を

## 全国知事 日本再生に向け不可欠

全国知事会議(於、秋田市)は十三日、東日本大震災からの復興に向けた提言をまとめ、二日間の日程を終えた。地方の主体性を活かした迅速な復興対策、福島原子力事故の早期収束、被災者支援施策の充実・強化、防災対策強化の四本が柱。

「日本の再生に向けて」と題する本提言は、東北地方を中心とする壊滅的被害、依然と不自由な生活を余儀なくされる被災者の状況に加え、福島第一原子力発電所事故に伴い、「日本全体の経済活動は電力不足の影響と相

まっ、このままでは活力の喪失」として、震災発災から四か月後も復旧・復興のまなまらぬ状況を危惧している。

原子力災害への対応では、①福島第一原発における事故の早期収束②原子力発電に関する安全対策の確立③放射能に対する安全対策の推進④風評被害対策の強化⑤原子力災害に対する十分な財政支援⑥国内産品の輸出証明書の発行事務対策――を掲げ、国と地方が総力を結集した取組の必要を述べている。安全対策に関しては、事故から得ら

れた知見や徹底検証の結果を踏まえ、安全基準を抜本的に見直すとともに、防災対策の充実については、原子力を立地しない自治体の意見も聴くことを求めた。放射能汚染については、モニタリングを強化し、広域的かつ長期・継続的な測定を国が責任を持って実施し、国内外に正確な情報を迅速に発信し、農林水産物、加工食品、工業製品、観光など、広範な分野・地域に及ぶ風評被害対策を講じる必要を訴えている。また、避難住民が差別を受けぬよう、一

層の情報発信に努めるとともに、農林水産物の風評被害にも確実な賠償がなされるよう求めた。

この他、原子力災害に對する国の場当たり的対応を非難しつつ、今後の原子力・エネルギー政策に関するビジョン提示など、行政の根本に立った責任ある対応を求める緊急提言も決定した。

## 避難者の生活補償求む

### 双葉郡 国に對し要望活動

福島県双葉郡は十二日、福島第一原子力発電所事故に対する政府の責任を追究し、双葉郡の現状を広く訴える「緊急総決起大会」を東京・日比谷公園大音楽堂で開催した。

双葉郡は、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、葛尾村、川内村から成る。この日は、県内外の避難者から

の公開資料には国内で公開されていない福島第一4号機の使用済み燃料貯蔵プールの詳細な燃料配置図が掲載され、同省の解析結果なども示されており、東京電力から提供されたデータに基づく解析であることが明記されているもの。

委員会で、調査活動に対し、「現場で運転、連絡調整に従事した関係者はもとより、事故炉の設計・建設・審査・検査等に関する個人に対する責任追及を目的とし、立

場を明確にすべきなどとする声明を発表した。

東大大学院特任教授／前IAEA原子力発電部長／原子力委員会委員、富岡義博・電気事業連合会原子力部長、井上正・電力中央研究所主席研究員、村上朋子・日本エネルギー経済研究所、原子力グループリーダーを迎えて「事故の概要と原子力の今後」、「既設プラント対策」、「避難地域の復興に向けて」、「これからエネルギー政策」について伺った後、林勉・エネルギー問題に発言する

「私たちは絶対双葉郡に戻り、子どもたちに未来を残す」と固い決意を表明した。また井戸川克隆・双葉町長は、「国を挙げての世界中に誇れる復興を次の世代のため勝ち取りたい」と語気を強めた。

他にも各町村長や地元国会議員たちが次々に激励の言葉を寄せた。

そして「国の原子力エネルギー政策において、事故後の避難者の生活補償をめぐり、国が責任を持つて医療保障を行うよう訴える」、「汚染された土地に対して除染等の環境回復を行い、早期にふるさと帰還を実現されるよう頑張る」、「帰還後の確保を行い、新たな産業を創出し経済の復興を国が責任を持つて対応するよう働きかける」、「国は避難者の避難中・帰還後の福祉に責任を持つてことを訴える」、「復興の礎と

会代表幹事／元日立製作所理事を座長としてフロアとの対話も行う。

参加費は千五百円、学生と一般市民は無料。午後五時半より行われる懇親立食パーティー会費は三千五百円、学生は千円。七月二十九日(金)まで氏名、ふりがな、所属、肩書き(元職も適宜)、懇親会への参加意向、メールアドレスを記載し、snv-sympoo@aei.or.jpまで申し込み。

その後、プラカードや横断幕を持つて日比谷公園から国会議事堂前を通り民主党本部前までデモ行進を行い、代表者が政府や各党への要望活動を実施した。

この放射線蛍光プラスチックは、現行のプラスチックシンチレタに比べて蛍光量、屈折率、密度で勝ることに加え、加工が容易で丈夫という特長も合わせ持つ。製造コストも大幅な低減が見込まれるため、今後多くの放射線検出器への応用が見込まれる。

現在プラスチックシンチレタ市場は外国企業に独占されているが、福島第一原子力発電所事故の発生で高まる安価で丈夫な個人線量計、汚染検査サーベイメーター等の開発ニーズに対応可能な技術として期待される。

## 早急な情報開示を要求

### 日本原子力学会

日本原子力学会は四日、福島第一原子力発電所の事故状況について、政府および東京電力の情報開示が十分でなく、「早急な改善を求め」とする声明を発表した。

同学会は不適切な情報開示の例を列挙しており、①IAEA関係会議への日本政府報告書で、「燃料は格納容器にまで漏洩している可能性がある」という評価結果が初め

て明らかにされた」と指摘し、「このような重大な評価結果が、事故後三か月も経つてから、しかも海外向けの会議資料を通じてしか国民に開示されたこと」は大変遺憾である」としている。

また、②事故初期には原子力防災センター(OFCC)からの退避等と相

当の混乱があったものと推測しながらも、現地対策本部および福島県がOFCCに残置したとするデータの中には、三月十二日の時点で福島第一原子力発電所の炉心が損傷し、かつ原子炉の閉じ込め機能が完全でないという重大な事実を疑わせ

る、大気ダスト中のテルル(Te132)、イットリウム(Y91)などの測定値、三月十五日時点での北西方向での高い汚染を示す雑草中のヨウ素(I131)、セシウム(Cs137)濃度などが含まれる。

さらに、③米国内エネルギー省の五月二十六日付の公開資料には国内で公開されていない福島第一4号機の使用済み燃料貯蔵プールの詳細な燃料配置図が掲載され、同省の解析結果なども示されており、東京電力から提供されたデータに基づく解析であることが明記されているもの。

## 事故調査・検証委員会にも要求

### 原子力学会

日本原子力学会は七日、福島第一原子力発電所に対する国際的責任を果たすために、事故原因の徹底的解明は不可欠との考えから、事故調査・検証

委員会で、調査活動に対し、「現場で運転、連絡調整に従事した関係者はもとより、事故炉の設計・建設・審査・検査等に関する個人に対する責任追及を目的とし、立

場を明確にすべきなどとする声明を発表した。

東大大学院特任教授／前IAEA原子力発電部長／原子力委員会委員、富岡義博・電気事業連合会原子力部長、井上正・電力中央研究所主席研究員、村上朋子・日本エネルギー経済研究所、原子力グループリーダーを迎えて「事故の概要と原子力の今後」、「既設プラント対策」、「避難地域の復興に向けて」、「これからエネルギー政策」について伺った後、林勉・エネルギー問題に発言する

その後、プラカードや横断幕を持つて日比谷公園から国会議事堂前を通り民主党本部前までデモ行進を行い、代表者が政府や各党への要望活動を実施した。

お申込み・お問合せは(社)日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部  
電話 03-6812-7126 FAX 03-6812-7110 E-mail doukou@jaif.or.jp



福島

「復興の礎と」

低コスト放射線検出器部品開発

シンチレックス

中村秀仁・京都大学原子炉実験所助教、高橋千太郎・同所所長、白川芳幸・放射線医学総合研究所研究基盤技術部長、清水久賀・帝人化成新市場開発部担当部長らは六月二十八日、放射線検出器の重要部品であるプラスチックシンチレタと同等以上の性能を持ち、製造コストを十分の一以下に低減可能な放射線蛍光プラスチック(商標名)シンチレックス)申請中の開発に成功した。

**JAIF** JAPAN ATOMIC INDUSTRIAL FORUM, INC.  
社団法人日本原子力産業協会

## 世界の原子力発電開発の動向

### 2011年版

- 世界の原子力発電開発の現状
- 原子力発電所の立地点
- 主な核燃料サイクル施設
- 世界の原子力発電所一覧表

炉型・原子炉モデルを始め発注・着工・臨界・営業運転の各年や主契約者、供給者、運転サイクル期間等、広範な情報を網羅

- 中、印で原子力計画拡大、中東・東南アジア諸国の新規導入計画 ほか


**日英同時掲載 好評頒布中**

A4判 190頁  
頒価(消費税、送料込) 14,000円  
(原産協会会員 7,000円)

お申込み・お問合せは(社)日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部  
電話 03-6812-7126 FAX 03-6812-7110 E-mail doukou@jaif.or.jp

## テフズード インダストリーサービス

私たちは、原子力技術分野の独立技術支援  
コンサルタントであり、検査機関です。



TUV  
SUD  
Japan

テフズードジャパンは、ヨーロッパにおける幅広い実績と長年の経験に基づき、さまざまな支援サービスをご提供します。

ご提供するサービス

- 放射線管理・放射性廃棄物管理
- ・廃棄物管理
- ・プランニングと組織化
- ・基本的廃止措置コンセプトの評価(フィージビリティスタディによる評価)
- ・放射線影響度評価
- ・廃棄物管理コンセプトの検証
- ・クリアランス: 除染技術、再利用コンセプトの評価、当社独自の測定による汚染度の検証

- システム及び安全分析
- ・原子力発電所設置における各種システム、運転性の総合評価
- ・確率論的安全性解析 (PSAs)
- ・信頼性及び稼働率分析
- ・作業マニュアル・工程の評価
- ・安全管理・安全文化評価

詳細は弊社ホームページをご覧ください。  
<http://www.tuv-sud.jp/plant/atomic.html>

**テフズードジャパン株式会社** インダストリーサービス部  
東京都新宿区西新宿4丁目33番4号8F Tel:03-3372-4418(代) E-mail:is@tuv-sud.jp